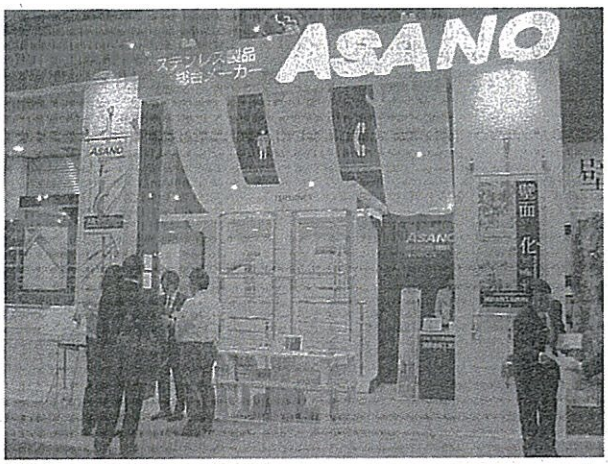
た 業 買

壁面緑化金具による緑化例

助ける金具。建物の壁面や柱の表面にステンレス製のワイヤーを取り付け、そのワイヤーに植物を這わせることにより、建物を緑化する。

ワイヤーテンショナーの開発・製造から培った経験を元に開発したジョイントや金具、クリップなどを利用して1本のワイヤーを様々な方向へ変えられる他、ワイヤーを最大4方向に張らせることができ、建物や周囲の状況に応じて自由に緑化できる。

こうして緑化の自由度を高めたことにより、建物の壁面全てはもちろん、建物の一部や柱、エントランス



の壁など大規模なものから小規模なものまで様々な場所への緑化を可能にしている。

同製品を用いて都市の緑化を図ることにより、ゲリラ豪雨などの原因とされるヒートアイランド現象の抑制を図れる他、景観の向上、環境に対する意識の高さのアピールなど様々なメリットをもたらす。

低コストで構造物の美観に役立つ同製品は、都市の環境保全に貢献する製品として今後も導入実績を伸ばすことが予想される。

URL＝http://www.asano-metal.co.jp

連結部分は、同ープロープ連結をされており、水、階段・水平階段に連結するシャープな印る建物・景観に

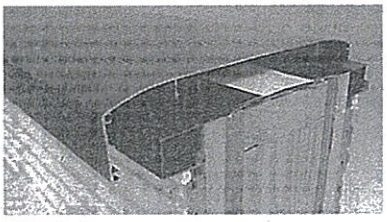
場所に応じて床置型・横付型2段手摺り、1寸摺りなしが用る他、シリーズントバーを支柱Dタイプと、パルPipeタイップされておスタイリッシュができる。

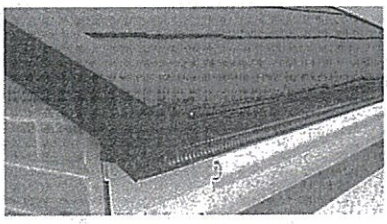
化金具」は、植物への登はんを

健康で快適な住まいづくりに貢献する
各種換気部材『hauseco』が話題！
ハウゼサンエイ

ハウゼサンエイ（大阪市中央区南船場二―一〇―二八・下村ビル、☎〇六―四九六三―八二六六）は、十一月十四日～十六日まで東京ビッグサイトで開催された「JapanHome&BuildingShow」に、同社オリジナルのhauseco（ハウゼコ）ブランドの各種換気部材を出展し、好評を博した。

エコロジーや省エネに感心が集まる時代となった現在、住宅も環境に配慮され、ナチュラルに暮らせるタイプのものが好まれる傾向になりつつある。また、



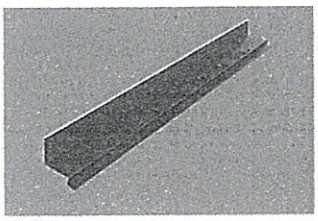


アンタレス㊤とデネブ㊦の施工例

そうした環境に配慮された住宅は、健康に悪影響を与えるシックハウス症候群を抑制する働きがあることも人気を集める要因となっている。

金属製建築材料メーカーとして今年で50周年を迎える同社では、2012年の8月にhause（ドイツ語で家の意味）とecoを合わせた新ブランド「hauseco」を立ち上げた。

hausecoシリーズにラインナップされる各種換気部材は、いずれも健康で快適な住まいづくりに貢献する。



ベテルギウス

hausecoシリーズにラインナップされる製品をいくつか紹介すると――

「アンタレス」は、バルコニー笠木の通気ができる笠木下換気部材である。

従来のバルコニーやパラペット部をサイディングで施工する場合、下部の通気だけでは不充分であったが、同製品を笠木の下部に設置することで多くの通気量を確保することができる。

様々な笠木形状に対応可能。設置後は直接通気部が見えないためスマートで、美観を損ねることもない。

横からの釘打ちのため漏水事故が起こりにくく、台風時を想定した漏水試験にもクリアしており、安心である。

「デネブ」は、軒先換気部材や軒天材を取り付けることができない上、小屋裏換気の必要な住宅でも軒先から充分な換気量を確保できる軒先換気部材である。

独自の設計により、防水・通気性とも従来製品と比べて大幅に向上しており、頭頂部からの換気ができない場合にも活用できる。

軒の出がないタイプの建物にも対応可能。頭頂部の換気部材と併用すればさらに換気量をアップできる。

「ベテルギウス」は、下屋に溜まった湿気を含んだ空気もスムーズに排出し、結露を防いでカビや腐朽菌から住宅を守る換気雨押えである。

換気部材に空気の通り道を直接にして雨水をしっかりガードできるものを採用することにより、排気時に生じる空気抵抗を減らして換気能力を最大限に引き出すことができる。

施工は雨押え水切りと同様と極めて容易。結露を防いで住まいの長寿命化に貢献する。

これらの製品以外にも多くの製品がhausecoシリーズにラインナップされており、いずれも特許取得済である。

詳しくは、http://www.hauzesanei.co.jp